

かかげる一流の田舎町湯沢の新たな方向付けとして総合プロジェクトチームが必
要と思うがいかがか。

町長答弁

外国人の来町者が近年増えて
いるなか、いろんな業種の人に参加いただき現状と問題点について研究し対策を講じるために外国人観光客誘致促進協議会を立ち上げます。総合プロジェクトチームの設置については協議し必要であれば設置する。

2 三俣地域振興策について

質問

三俣の地域整備がなかなか進まないが今後の整備等計画はどうなるのか。

町長答弁

19年4月に三俣みらい街づくり協議会、北陸地方整備局、新潟県、湯沢町の4者協議会で基本的な合意がはかられ確認書が締結された。

実施可能な事業から順次行うこととし、町が事業主体の事業については整備コ

ンセプト、施設規模、配置計画など三俣みらい街づくり協議会と協議策定する。現在街づくり協定書の締結に向け各町内ごとに住民の同意をとるために活動している、道の駅は街道の湯に隣接して建設するために国との一体整備をはかるべき協議中である、20年度は町並み環境整備事業の整備事業計画を策定し国の同意を得たのち事業計画に沿って着手する。

3 道路等の整備について

質問

松川橋の整備とあるが、どのような整備方法を考えているのか。また、どのような要望をしていくのか。

町長答弁

松川橋は老朽化が進み安全安心とは言えない、管理者の県は架け替えの方針だが200メートルと長いため直轄砂防事業者の湯沢砂防と近々協議をはじめ。工事費用が多額になるため問題も多いが町をあげて取り組みたい。

質問

県道拡幅の要望路線として、中学校建設に伴いこの地域を文教地域と考えるなら隣接する県道の拡幅、改良は急務である。現時点で要望にあがっているのか。今後の要望予定はどうか。

町長答弁

越後湯沢停車場線で都市計画決定されている、17年度より県に要望しているが採択されていない、街づくりとして地元との機運を高め、さらに強く要望活動をしていく。

質問

土樽自然公園の整備が進んでいるが、この公園は土樽地区の活性化にとって非常に重要な位置づけになる土樽西地区全体としてどうあるべきか再度検証するべきではないか。

町長答弁

都市計画マスタープランにおいて、豊かな自然を生かしたレジャーゾーンとして位置付け、具体案については地元を含めた土樽自然公園整備計画検討会で議論し、現在計画に沿って事業

を進めているため現在は見直しする考えは無い。

4 バイオマスタウンについて

質問

湯沢町バイオマスタウン構想を策定作業中でバイオマス・ニッポン総合戦略推進会議の審議を経て5月にバイオマスタウンとして公表されるとのことだが当初の説明で資源を含め調査して結論を出したいと聞いている。構想策定の進捗状況と今後の財政負担についてどのように考えているのか。

町長答弁

副町長をリーダーとして役員内にプロジェクトチームを作った、民間の声を反映させるべく民間団体をはじめ南魚沼市の関連団体に利活用推進委員会のメンバーとして参加いただき、活発な意見交換をし、素案作り作業をしている。

財政負担については国に構想が認められたら、経済性やメリットを考えた具体的な事業計画を立て検討することになるのでこの段階で十分議論したい。

5 ガソリン税の暫定税率について

質問

ガソリン税の暫定税率が廃止された場合の町への影響をどのように考えているのか。

町長答弁

国道については防雪対策や交通安全対策に影響が出ること、県道、町道については補助事業の補助金が50%ほど減ることが予想される。現在整備中の事業についても工期が大幅に遅れることとなるなど今後の事業の見直しも検討せざるを得ない事態となり危惧している。



暫定税率廃止による町への影響は？